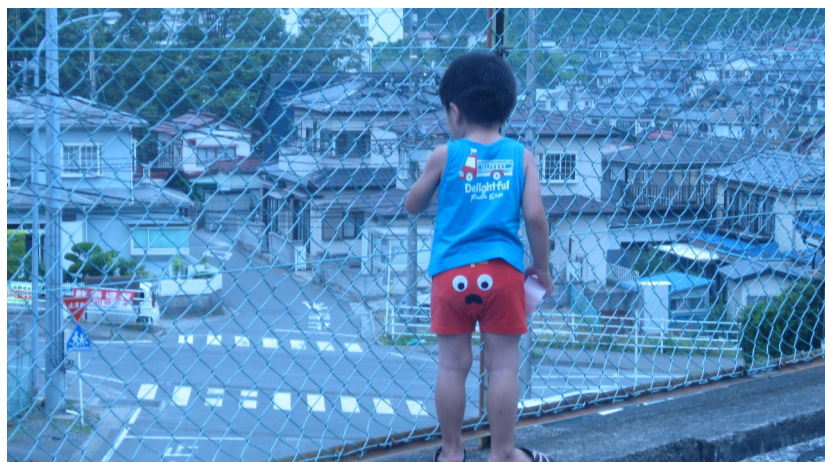


# 心のケア支援 フォーラム

## 被災者の心を支えるために

～東日本大震災支援のこれまで、そして今後の災害に備えて～



**日時：2013年3月9日(土) 13:30～16:30**

**会場：研究社英語センタービル B2 大会議室**

(東京都新宿区神楽坂1-2 外堀通り沿い 東京理科大学となり)

交通機関: JR中央・総武線 飯田橋駅から徒歩4分

または、東京メトロ(有楽町線・東西線・南北線・大江戸線)飯田橋駅B3出口から徒歩4分

### <基調講演>

「被災地の文化を感じる力ーサイコロジカル・ファーストエイドからの学びー」

鈴木 満 (外務省メンタルヘルス対策上席専門官・岩手医科大学客員准教授)

### <シンポジウム>

司会: 本郷 一夫 (東北大学教育学研究科長・同教育学部長・教授)

話題提供者:

1. 「被災地における心のケアの現状と課題」 福地 成 (みやぎ心のケアセンター 地域支援部長)
2. 「岩手県大槌町における訪問支援活動の経験から」 臼澤 良一 (NPO法人 遠野まごころネット)
3. 「被災地における支援者支援の課題」 矢永 由里子 (NPO法人 心の架け橋いわて)
4. 「教員およびボランティアへの心のケア研修会活動」 畑山 みさ子 (ケア宮城 代表)

**参加費：無料(定員100人)**

**申込み・問合せ先：公益財団法人 プラン・ジャパン**

TEL: 03-5481-0030 Eメール: [event@plan-japan.org](mailto:event@plan-japan.org)

※お申込みの際は、お名前・所属・連絡先(TELまたはメール)をお知らせください。当日参加可能。

主催：ケア宮城、公益財団法人プラン・ジャパン

後援：東日本大震災中央子ども支援センター、震災復興心理教育臨床センター  
国際基督教大学高等臨床心理学研究所、PAS心理教育研究所  
淑徳大学心理臨床センター、いちかわ野の花心理臨床研究所



## 主催者のことば

2011年3月11日の東日本大震災から2年が過ぎようとしています。被災地の復興は遅々として進まず、被災者の傷ついた心の回復もまだこれからの課題と言えます。同年、WHO(世界保健機関)は被災現場で心の支援活動を行う人たちのための手引きを発表しました。そこにも述べられているように、「心の支援」は専門家だけが行う仕事ではありません。本フォーラムでは、東日本大震災後に行ってきた心の支援活動の例を報告し、WHO版「心理的応急処置」および「被災者の心を支えるために」に依拠しながら、今後の類似の災害に備えて私たちがすべきことについても考えたいと思います。多くの皆様のご参加を期待いたします。

## 講師・話題提供者の紹介

### 鈴木 満 (すずき みつる) 外務省メンタルヘルス対策上席専門官・岩手医科大学客員准教授

医学博士。精神保健指定医。日本精神神経学会専門医・指導医。多文化間精神医学会在留邦人委員会代表および日本精神科救急学会理事国際交流委員会代表として20年間にわたり海外邦人のメンタルヘルス支援活動に携わる。2012年より「NPO法人心の架け橋いわて」の理事長として週末に岩手県大槌町の支援を続けている。

### 本郷 一夫 (ほんごう かずお) 東北大学教育学研究科長・同教育学部長・教授

専門は発達心理学、とりわけ子どもの社会性発達支援。現在、教育学研究科長・教育学部長、臨床発達心理士認定運営機構代表理事。東日本大震災後は、保育所・幼稚園の保育者向け研修会の講師、巡回相談、電話による発達相談に従事している。ケア宮城の役員。

### 福地 成 (ふくち なる) 宮城県精神保健福祉協会「みやぎ心のケアセンター」地域支援部長

小児科医として、青森と北海道にて勤務。主に新生児医療、地域の乳幼児健診、子どもの発達障害臨床に従事。その後、宮城県にて児童精神科入院臨床、地域精神保健に従事。2011年12月より、震災復興に特化した「みやぎ心のケアセンター」に勤務。

### 臼澤 良一 (うすざわりょういち) 特定非営利活動法人 遠野まごころネット

東日本大震災で被災した岩手県沿岸部の被災者の方々を支援するべく、遠野市民を中心として結成された沿岸被災地復興支援ネットワーク「特定非営利活動法人 遠野まごころネット」の副理事長。

### 矢永 由里子 (やなが ゆりこ) 特定非営利活動法人 心の架け橋いわて・慶應義塾大学医学部講師

臨床心理士。長年医療における患者・家族の支援や、遺族のグリーフワークとその支援に従事。臨床心理士の育成を始め予防ケアに携わる全国の医療福祉教育領域の専門家の研修、一般相談の相談員の教育・養成など支援者支援に力を入れている。昨年より岩手県大槌町で当事者・支援者支援にNPO活動として従事。

### 畑山 みさ子 (はたやま みさこ) ケア宮城代表・宮城学院女子大学名誉教授

専門は発達心理学・臨床心理学。長年、保育者と教員の養成および現任保育者の研修等に当たってきた。東日本大震災後の2011年4月に3つの心理士会の有志からなる「ケア宮城」の組織を立ち上げ、「子どもを支援する教師や保護者を支援する心のケア研修会」を各地で開催。ボランティア支援者への支援活動も行っている。

## 主催団体の紹介

### ケア宮城 [www.sed.tohoku.ac.jp/~caremiya/](http://www.sed.tohoku.ac.jp/~caremiya/)

宮城県内の心のケアに当たる人たちを支援することを目的として、2011年4月に活動を開始。会員は、日本学校心理士会宮城支部会員、日本臨床発達心理士会東北支部会員、宮城県臨床心理士会会員の有志などにより構成されている。要請に応じて、県内各地の学校にて教員向けの心のケアのワークショップなどを実施している。

### 公益財団法人 プラン・ジャパン [www.plan-japan.org](http://www.plan-japan.org)

国連に公認・登録された国際NGOとして、アジア・アフリカ・中南米50カ国で、子どもたちとともに地域開発を進める。国際的には70年以上の歴史があり、日本事務局の設立は1983年。東日本大震災に際し、設立以来初めて日本国内での緊急・復興支援を展開している。